

産業文教常任委員長報告

| | |
|------|--|
| 審査日 | 令和5年6月12日 |
| 出席委員 | 中村 美穂 堀 真 松林 敏 浦川 圭一 安部 都 山口 憲一郎 竹中 悟 |
| 説明員 | 関係所管管理職並びに職員 |

議案第31号 令和5年度長与町一般会計補正予算（第3号）

【提案理由・主な内容】

建設産業部、産業振興課では、水産振興費に補正額60万円を計上。日本財団が行っている「海と日本 PROJECT」からの補助金を活用して行う「二島開拓大作戦」事業に対する負担金で、町負担分と大村湾南部漁業協同組合負担分（漁協分は歳入として30万円）の合計。商工振興費は、補正額2億1千万円。「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援交付金」を活用し、長与町プレミアム付き商品券発行について補助するもの。内容は、1セット5千円分を販売価格3千円、1世帯あたり最大5冊まで、世帯数は1万7,200世帯を想定しており、発行総額は4億3千万円を見込んでいる。

土木管理課では、歳入は、土木債、港湾管理事業債として、長与港緊急自然災害防止対策事業の地元負担金の増額による充当起債の額の変更。併せて歳出において地元負担金122万円を港湾整備費で計上している。歳出はこの他、道路維持費で、長与駅の駅舎の外壁、屋根、内部の床や階段、天井などの総点検の結果として改修・補修が必要な箇所があるため、今後改修工事を行う為の設計業務委託料を計上。長与町が管理する区域の設計費として600万円を、管理区域の床面積の割合で土木管理課と契約管財課の2課で費用を按分し、土木管理課が費用の72%にあたる432万円を負担する。

教育委員会、学校教育課では、歳入のキャリア教育充実事業委託金は、長崎県教育委員会の委託事業で、長与第二中学校において地域や民間企業と連携し、3年間の学習を通して、生徒がキャリア発達に関わる資質や能力の向上を目指した育成に取り組む為の事業委託金で、歳出で計上の講師謝礼や旅費、需用費に全額充当する。学校給食費の賄材料費1,251万9千円は、食材費の高騰等により給食費の経済的負担から子育て世帯を支援するため、1食あたりの高騰分として20円を計上。新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当する。

生涯学習課では、歳出の社会教育総務費、職員の育児休業取得に伴う会計年度任用職員雇用分で、人件費6か月相当分。

以上の説明があった。

【主な質疑】

建設産業部

（産業振興課）

質疑：無人島の散策と体験学習の具体的な内容と募集の方法はどうするのか。

答弁：今後3年間の体験学習を予定しており、今年度は3回島に渡る計画で、フィールドワーク、現地の調査、ごみ拾い体験、生き物調査という企画。事業主体がKTNなので今後ホームページで募集する予定。

質疑：イベントの実施時期と、子どもたちの事故などの保険はどのようになるのか。

答弁：イベントの実施時期の詳細なスケジュールと保険については、事業主体と調整していく。

質疑：二島は射撃訓練があったという事実はあるのか。

答弁：事業の協議の中で、漁協から、そういう事実があったということで、どういう歴史があるかということも観点に入れ企画としてあがっている。

質疑：不発弾などの危険なものがないかどうかの調査はしないのか。

答弁：二島は、以前から教育活動や観光事業で使われており、栈橋を造る時にはダイバーが入って調査しており、その中では小さな銃弾等があったことは確認している。今回、島全体を調査することは考えていないが、子どもたちには単独ではなく、大人が付いて行動するよう事前にレクチャーする。

質疑：プレミアム付き商品券が売れ残った場合再販売をする考えはないのか。

答弁：再販売は考えていない。販売期間に転入した世帯も購入できるようにする。

質疑：交通系ICカードにチャージするような使い方はできないのか。

答弁：ICカードについては、どの区間で使われたかの整理が難しい。

（土木管理課）

質疑：長与駅はさほど痛んでいないように見えるが、どのような工事になるのか。

答弁：昨年度2月に点検した結果、危険性が高く修繕を要する箇所が8か所程あり、全体的な改修。そのための設計である。

質疑：工事費はどれくらいになるのか。

答弁：4千万円程掛かるのではないかと見込まれる。原材料の高騰や労務費が上がると、さらに膨らむ可能性はある。

質疑：長与港の改修の場所と幅や高さ、工事の時期と期間はどれくらいか。

答弁：長与港の東側で、ふれあい広場がある所の左側。護岸の改修の延長は104メートル、2か年度施工で、今年度設計、来年度工事の予定。高さについては設計後に決定される。

教育委員会

(学校教育課)

質疑：長与第二中学校のキャリア教育の内容はどのようなものか。

答弁：3年間で行う学習で、1年生では子どもたちが未来の職業に繋がるような職種の人との出会い、2年生では探求活動を進め地域活性化にどう貢献できるのかを考える、3年生では自己の将来について具体的な目標を立てどう歩んで行くのかという学びとなっている。

質疑：学校給食費の1食20円の補正で質を落とさず対応ができるのか。

答弁：パンが4円、牛乳が5.4円、他の物資も高止まりしている状況で、補正を計上したが、献立の工夫や随意契約の中で単価契約など努力することで、質を落とさず、安心して安全な学校給食を提供できると考える。

質疑：来年度食材費が高騰した場合はどうするのか。

答弁：今後高騰が続くようであれば、給食費の値上げや給食回数の見直しも視野に考えていく。

(生涯学習課)

特記する質疑はなかった。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。

議案第32号 令和5年度長与町水道事業会計補正予算(第1号)

【提案理由・主な内容】

予算第5条に定めた債務負担行為に新たに追加するもので、「新浄水場共同整備事業計画作成等業務委託負担金」及び「浄水場等基本設計業務委託」で、それぞれ期間及び限度額を定めるもの。

【主な質疑】

質疑：浄水場の更新を共同整備で行った場合、今後水道料金は上がるのか。

答弁：今の料金体系よりも上がっていくと考えているが、単独整備よりも改定幅は少なくなると算定している。

質疑：広域で行う場合に、一部事務組合を設立する考えはなかったのか。

答弁：今回行おうとしている施設の共同化は、協定の締結を行って任意の協議会を設置し事業を進めていくことで考えている。

質疑：第1浄水場の跡地に何か計画はあるのか。

答弁：役場の中で活用する方法があるのか、売却するのか未定の段階である。

以上のような質疑が行われ、全会一致で可決すべきものと決した。